



7月ほけんだより

平成27年6月29日
富士わかば保育園

6月は検診あり、手足口病・ヘルパンギーナ・溶連菌感染症流行ありと、なかなか忙しい月でした。現在は溶連菌感染症がじわじわ続いています。溶連菌の症状とは別に「のどの痛みと発熱」の風邪もみられています。こちらは保護者の方も罹って辛い思いをされていますので、みんなで注意しましょう！

夏に多い感染症

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。病院では「夏風邪」と言われることも多いです。



普段の風邪に比べ、他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。特にまわりで流行っている情報があるときは必ず、受診時に医師に伝えましょう

プール熱

プールの時期に感染することが多く、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血、かゆみなど結膜炎のような症状も出ます。登園停止疾患になります



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。水ぼうは、まれに痛がる場合があります（大人のぼうが痛がるようです）

流行性角結膜炎

目が腫れ充血し、多くの目やにや涙が出て、痛がります。眼の周りの肌がかさかさとして荒れ、普段の眼のトラブルより症状がひどくみえます。登園停止疾患になります

歯科結果…わかばのお友達の現状

クラス	汚れのあったお友達	虫歯のあった人数 (虫歯の総数)
りす	1	0 (0)
うさぎ	1	0 (0)
ひつじ	1	3 (6)
くま	1	3 (16)
きりん	0	5 (15)
ぞう	1	4 (17)

※ 10本以上虫歯があるというお友達が2～3名いました

※ 今年は汚れが少なかったです。日頃から仕上げ磨きが定着している様子がわかりますね♪

眼科結果…こんな感じです

今年度はくまさんはじめ、みんな上手に視力検査ができました！ただ、照明・環境（にぎやか）の都合上、数値は「目安」としてお伝えしています。

「理解力があるのに視力の低かったお友達」「視力に左右差があったお友達」に、受診をお願いしました（3名）。

また、眼病の疑いのあるお友達についてですが、全員問題ありませんでした。プールが安心して開始できました！

保育園での与薬について

最近では溶連菌が多いので、保育園での与薬が増えています。この疾患は「特にしっかりと内服して治さなくてはいけない」細菌性の病気なので、保育園でも抗生剤を内服しています。

- ・ 与薬の依頼のあったお友達には、初日に「持参用の袋」を作成して、容器などと一緒にお返ししています
- ・ 「お薬について お願い」の用紙を初日に同封します。保育園の決まりが書かれていますので、ご協力お願いします
- ・ あまりにお薬が長く続く場合は、相談させていただくことがあります

鼻かみ、がんばろう！

いつも口のあいている子、ぞうさんになってからフッ化物洗口で鼻呼吸ができず苦しくて半年もできなかった子、集中力の弱い子、風邪をひきやすい子、喋るときにあまり口を動かさない子…。くまさん～きりんさんくらいになったら、発音だって気にしたいところです。

いろんなことを経験して・身体のいろんな筋肉や機能を十分使いこなして・年齢的に出てくる恥ずかしさもしっかり育てて…鼻かみひとつがこんなに成長に関係しています。まずはいつも子どもがきれいいていられるよう、みんなでかかわりましょうね



プールについて



プールには危険が潜んでいます。毎日、入る・入らないは、子どもではなく、毎日必ず保護者が子どもの朝の体調をみて、決めてください。

- ・ 保育園では、全体的に温かめの水を準備しています。小さいクラスほど温かくなります
- ・ 毎日、新しい水で準備しています
- ・ 小さいクラスは特に肌に優しい消毒液、2階は小学校と同じもので消毒をし、洗体槽もあります

こんな時はプールに入れません。

- ・ 鼻水が出ている。せきがよく出る。
- ・ 風邪薬を飲んでいる。前日に熱があった。
- ・ 下痢している。食欲がない。
- ・ 喉やその周りが赤い、喉に痛みがある
- ・ 目が赤く充血している。目やにが多い
- ・ 耳が痛い

前期検診結果、すべてお返ししました

- ・ 内科健診（4月）
- ・ 歯科検診（6月）※別紙あり
- ・ 眼科健診（6月）※別紙あり
- ・ ぎょう虫・尿検査（5月）

すべて健康手帳に記入し、お渡ししています。

ぎょう虫検査は一時保育含め、全員異常なしですので、みんなで楽しくプール遊びが始まっています。

尿検査は今年度、数名第3次検査まで入りました。簡単でも、やはり大切な検査と考えています。

治療・受診をお願いした方は、期日までに病医院を受診してくださいね。

特別支援保育の窓

2階のクラスで、廃材を使って子どもたちが思い思いに製作を楽しんでいるのですが、最近、とっても遊び方が上手になってきました♪

最初はとにかく思いっきり遊んでほしい、いろいろ遊びがあれば、どの子どもでも必ず輝けるものが見つかる…。

…そして医療者としては細かい成長や器用さの確認、また気になるところがあっても、一つ一つできるようにしたい、伸ばしてあげたい、というのがありました。

多くの保育士が協力してくれ、今では完全に保育士が中心となって世界をどんどん広げて、遊びは豊かになり、また、丁寧にかかわってくれています。

そして他の遊びも、保育士が人とかかわりが不可欠なものばかりを厳選してくれています。

実はわかば保育園では、7年前から完全にメディア（TV）なしの手作り保育（素敵でしょ♪）。災害用に病後児室にテレビがあるだけ。

幼児期には大人から十分愛されていると子ども自身が感じることで、友達との楽しい・悔しいいろいろなやりとり、身体の隅々までしっかり使うこと、自然の不思議さ、予想しないことにも考えて対応しようとする柔軟性…全部を経験し、積み重ねてほしい。これらは一方的なメディアの刺激からは得られない、貴重なもの。生きていくうえで、幼児期に一番育ててあげたい力と考えています。

最近保育園では時代の流れか、危険とのことで遊びの禁止事項が増えてきましたが、本来はさまざまな豊かな経験が、成長を促します。

また、けがでご報告するときも、ご報告したすべての方に「子どもですから」「気にしないでください」とご理解をいただき、本当にありがたく感じております。

わかばは自然がいっぱい！保育園と一緒に「人間臭さ」を子どもにもっともっと教えていきたいと思います！